

## 令和5年11月定例会の結果

### 1 請願書      2 資料（請願文書表）

---

#### 1 請願書

請願番号	件名	結果
請願第5号	すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	不採択
請願第6号	国民健康保険料の引き下げを求める請願	不採択

---

## 2 資料（請願文書表）

（請願第5号）

市民環境教育委員会  
（令和5年11月17日受付）

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

請願者 静岡市葵区  
子どもと教育を考える静岡市民会議 代表 大多和 暁

紹介議員 市川 正 杉本 護 内田隆典

署名者数 ~~5,133~~名  
180名追加（令和5年12月1日）計5,313名

### 【請願趣旨】

すべての子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくるのが保護者・市民の願いです。しかし、近年の世界情勢の悪化や急激な円安、物価急騰により保護者や市民の生活が圧迫されています。その中で、不登校や自殺の増加など、子どもたちの心の中に大きな不安が広がっています。今必要なのは、保護者の経済的負担を大幅に軽減し、教職員の拡充や施設設備の改善によって子どもたちに安心して学ぶことができる学校をつくることです。そのために、以下のことを請願します。

### 【請願項目】

1. 物価高で経済的に大変な家庭が増えているため、保護者負担を減らしてください。
  - （1）子育て支援の観点から、給食費を無償にしてください。
  - （2）学校で備え、共有できる教具を増やし、個人購入物品を減らすと共に、子どもの通学の荷物を少なくしてください。
  - （3）小・中学生の保護者への就学援助をより丁寧な周知し、さらに認定基準の緩和、支給費目の拡大をしてください。
  - （4）子ども用タブレットの利用にかかる費用は、今後もすべて公費で賄ってください。
2. 子どもたちの学びの充実のために、教職員を増やしてください。
  - （1）小・中・高等学校の全学年で「20人学級」を実現してください。当面、小・中学校の「30人学級」と高等学校の「35人学級」を実現してください。
  - （2）教職員の新規採用人数を増やし、学校に必要な教職員の正規化をはかってください。
3. 教育環境・施設を整えてください。
  - （1）避難所となる体育館のバリアフリー化とエアコン設置及びトイレの洋式化を進めてください。
  - （2）すべての学校建物の100%耐震化と安全対策を進め、老朽化の進んだ学校施設等の建て替えを計画的に進めてください。
  - （3）小・中学校プール施設を再点検し、安全にプールでの授業ができるようにしてください。
  - （4）特別教室（音楽室や理科室等）へのエアコン設置を早急を実現してください。

- (5) トイレの100%洋式化を早急を実現すると共に、便器の数を増やしてください。
  - (6) すべての小中学校に専任・専門の学校司書を配置すると共に、新しい本を増やし通い  
たくなる学校図書館にしてください。そのために第6次学校図書館図書整備等5か年計  
画による地方交付税措置を予算化してください。
  - (7) ジェンダー平等の観点から、学校のトイレに生理用品を常備してください。
4. 特別な支援を必要とするすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
- (1) すべての学校に特別支援学級を設置し、さらに増やしてください。
  - (2) 特別支援学級の定員を現在の8人から6人に縮小してください。
  - (3) 中学校区ごとに通級指導教室を設けてください。
  - (4) 現在の特別支援教育支援員の勤務時間を、せめて子どもたちの在校時間まで延長し、  
さらに増員をしてください。
5. 小中一貫教育を一律に進めないでください。
- (1) 小中一貫教育では、各学校・地域の自主性を尊重し、子どもたちや教職員に過度な負  
担を増やさないようにしてください。
  - (2) 小さな学校の良さや地域での伝統を大事にする取組を広げ、中山間地の小学校が存続  
できるように子育て世代が居住できる環境整備を進めてください。

以上

(請願第6号)

厚生委員会  
(令和5年11月20日受付)

国民健康保険料の引き下げを求める請願

請願者 静岡市葵区  
静岡市医療と福祉をよくする会 山田美香  
静岡市清水区  
国保料を値下げさせる清水の会 平塚倫豊

紹介議員 杉本 護 寺尾 昭 内田隆典

署名者数 ~~3,700~~名

856名追加(令和5年12月1日)計4,556名

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行しました。これに伴い、これまで公費負担により無償だった検査費や医療費が自己負担になりました。さらに高齢者の医療費窓口負担の2割化が私たちのいのちと暮らしを脅かしています。

国民健康保険は、無職者、年金生活者、非正規雇用労働者など低所得者が多数加入していますが、その保険料は他の医療保険と比べ、所得に対する負担割合が高く、保険料の負担軽減などが必要です。とくに家族人数によって負担が増える「均等割」の廃止や減免などが必要です。また窓口一部負担金(国保法第44条)減免によってお金の心配なく医療にかかる制度の拡充が大事になっています。

いま静岡市が行うべきは「国保は社会保障」(国保法第1条)の原点に立ち、国と県に公費負担の増額を求めることや、市民が高い負担に悩まず暮らしていける国保料にすることです。つきましては以下の項目について請願いたします。

【請願項目】

高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。